

ショートセミナー 面接で学生の何を見るべきか

2022年12月吉日



Edu Studio

なぜ面接という形式で学生を見るのか

ポイント

- ✓ 最も質の高い採用手法はインターンシップ
- ✓ 効率面やリスク面を踏まえ、落とし所として適当なのが“面接“

① 効率的だから

- ・人材の見極めに関し、質と効率の落とし所として最も妥当
- ・「1時間で、ある程度の精度で合否を判断できる」

② コミュニケーション 能力を見るため

- ・仕事スキルの中で、コミュニケーション能力の重要度は高い
- ・一緒に働くことをイメージできるか

③ 嘘をつく人間か 確認するため

- ・嘘をつくという行為は仕事で最もハイリスク
- ・ESの記載内容と面接での内容の一致具合で判断

何を面接で学生を見るべきか

- 採用ペルソナに合致している学生か
 - ・ 欲しい人材は会社それぞれ
 - ・ 雰囲気判断しないように注意

- ESの内容と面接での印象が一致しているか
 - ・ 最大のネガティブチェック
 - ・ 面接官の質問力が問われる

- ポテンシャル
 - ・ 新卒はスキルよりも人柄
 - ・ 成長意欲、主体性を見る

最後に

■ カウンセリング受付中

オンライン（30分程度）で対応いたしますのでホームページもしくは以下までご連絡ください。

contact@edu-studio.co.jp

■ テーマ募集

取り扱ってほしいテーマがあればご連絡ください。



Edu Studio